

教育経済 常任委員会

委員長 内藤 真一



平成30年度 飯南町一般会計補正予算(第5号)

河川維持補修事業 253万円

下三日市地内にある自動堰が作動不能となつたため、修繕するためのもの。

予算が、委託費115万円、工事請負費137万円で構成されていることへの疑問が呈され、大型土のうによる河川の水替え工事と保守・点検に分かれているとの説明をうけた。

現年補助○公共土木施設災害復旧

1億3051万円

河川(6/28~7/1)2件、河川(7/5~7/8)24件、町道(7/5~7/8)1件の復旧費で、申請箇所のすべてが採択された。

中学校共通臨時管理費 195万円

病弱生徒が来年度入学するため、教室を改修し、空気清浄機等を導入する。

審査意見

琴引スキーコース外臨時管理費

人工降雪機用貯水池の災害復旧に当たっては、再びこうした瑕疵による災害が起こらないよう、設計・工事施工に十分留意されたい。

森林経営管理制度推進事業 136万円

林政アドバイザー1人分の人事費。

来年度から始まる森林経営管理制度の対象となる山林の情報収集と整理を行う職員を雇用する。

琴引スキーコース外臨時管理費 680万円

人工降雪機用貯水池が、7月の豪雨で排水溝が沈下し、堰堤がひび割れたことに対する災害復旧費。

総額は1,533万円であるが、町が実施する部分は680万円で、853万円は日本ケーブル(株)が実施する。これは、貯水池が建設されたときの設計に瑕疵があったことを会社側が認め、補償するものである。事務処理が適切であるか疑問視する意見があつたが、適正であるとの報告を受けた。

二度と同様の被害を受けることの無いよう、取水・排水を含めた水を扱う専門業者の助言を受けるべきとの意見があつた。



議会全員協議会の議題

平成30年8月16日(木)

- ①地方公務員法の改正に伴う臨時・非常勤職員の任用制度の変更について
- ②旧頓原序舎の跡地利用について
- ③来島拠点複合施設の建設について
- ④琴引フォレストパークスキーコース人工降雪機用貯水池について

平成30年9月14日(金)

- ①来島ダム出水期運用水位見直しについて
- ②障がい者の雇用率について
- ③知事要望について
- ④総合振興計画等評価委員会の答申について
- ⑤赤名小水力発電所の今後のあり方について



遊具補修箇所の確認(赤名保育所)

総務厚生 常任委員会

委員長 潛尻 行雄

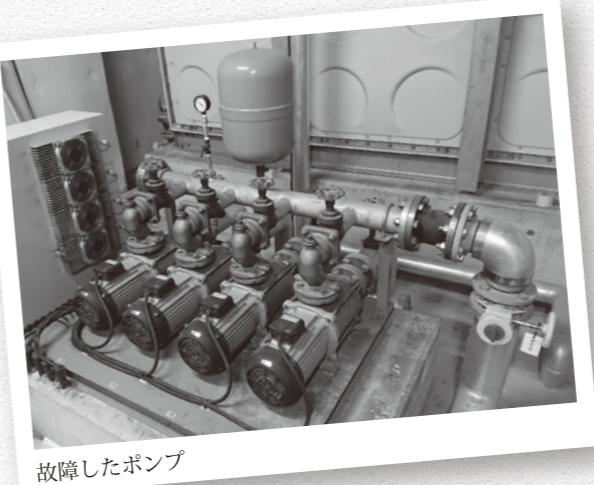
平成30年度 飯南町病院事業会計補正予算(第2号)

施設整備費 560万円

一度貯水槽に水を溜め、4台のポンプで院内へ送水しているが、1台が故障し能力が低下した。

このポンプは部品供給が終了しており、既設の制御盤も新型ポンプに対応していないため、ポンプユニット式を交換するとの説明であった。

病院全体へ送水しているのかとの質問に対し、調理場へは水道管から直接引いているとの説明だった。



故障したポンプ

平成30年度 飯南町一般会計補正予算(第5号)

来島拠点施設整備事業 1106万円

施設整備に伴う移転補償費の増額であるが、詳細に調査したうえで費用額を算出し、予算計上をすべきとの意見があった。

保育所共通臨時管理費 230万円

業者による遊具点検実施で、経年劣化が指摘された遊具を修繕するものである。前回の点検が平成26年であり、安全確保上、点検間隔の見直しを求める意見が出た。

高齢者生きがい活動促進事業 100万円

谷地区ではこれまで、公民館、自治振興会など、それぞれの組織で活動してきた。しかし、高齢化により活動の継続が厳しくなったため、総合的な調整役・事務局的な役割を担う中間支援組織を立ち上げ、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指すためのものと説明を受けた。

議会活動報告 [7月～9月]

7 1～4日 教育経済常任委員会: 観察研修(宮城県)

9日 議会広報編集委員会: 町村議会広報クリニック

12日 総務厚生常任委員会

19日 議会運営委員会: 議会基本条例

8 16日 臨時議会、議会全員協議会

20日 議会広報編集委員会: 市町村議会広報研修会

22日 議会運営委員会: 議会基本条例

30日 議会運営委員会

9 4日 9月定例議会: 本会議、町長提出議案の説明

: 本会議、一般質問

: 委員会審査

: 委員会審査、予算特別委員会審査、

14日 9月定例議会: 本会議、討論、採決

議会全員協議会

18日 議会広報編集委員会: 議会広報誌編集

25日 議会広報編集委員会: 議会広報誌編集